

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月13日
【四半期会計期間】	第33期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社フライングガーデン
【英訳名】	FLYING GARDEN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 野沢 八千万
【本店の所在の場所】	栃木県小山市本郷町三丁目4番18号
【電話番号】	0285（30）4129（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 片柳 紀之
【最寄りの連絡場所】	栃木県小山市本郷町三丁目4番18号
【電話番号】	0285（30）4129（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 片柳 紀之
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第32期 第2四半期 累計期間	第33期 第2四半期 累計期間	第32期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	3,523,560	3,507,744	6,943,307
経常利益(千円)	48,269	66,906	21,922
四半期純利益又は当期純損失 () (千円)	13,101	21,749	131,067
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金(千円)	579,900	579,900	579,900
発行済株式総数(株)	1,449,168	1,449,168	1,449,168
純資産額(千円)	1,378,149	1,212,296	1,233,946
総資産額(千円)	3,977,456	3,532,533	3,767,267
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり当期純損失金額() (円)	9.06	15.04	90.66
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
1株当たり配当額(円)	-	-	30.00
自己資本比率(%)	34.6	34.3	32.8
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	93,192	89,963	161,459
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	168,509	91,200	318,213
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	102,343	197,248	143,836
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	281,648	225,619	241,704

回次	第32期 第2四半期 会計期間	第33期 第2四半期 会計期間
会計期間	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	13.27	19.16

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等を含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第32期は当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため、第32期第2四半期及び第33期第2四半期は潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであり、将来に関する事項には、不確実性を内在あるいは、リスクを含んでいるため、将来生じる実際の結果と大きく異なる可能性もあります。

(1) 業績の状況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新政権による各種政策への期待感から円安・株高へ転じ、製造業を中心とした企業収益も好転し、景況感は徐々に改善されつつあります。

一方で、海外景気に対する不安感や国内における円安進行による原材料価格の上昇などの懸念があり、依然として先行きは不透明な状況となっております。

外食業界におきましても、依然としてお客様の生活防衛意識は高く、外食控えや利用店舗の選別が行われるなど厳しい状況が続いております。

このような環境下で、当社は「爆弾祭」の継続実施及び爆弾コンピメニューの投入等、爆弾ハンバーグの販売強化を継続して取り組んでまいりました。

出退店につきましては、当第2四半期累計期間中には行いませんでしたので、当第2四半期末の店舗数は前期末と変わらず67店舗でした。

当第2四半期累計期間の業績につきましては、爆弾コンピメニューの投入や「奥秩父源泉純氷かき氷」等のデザートフェアなどの施策を行った結果、売上高はほぼ前年並みの3,507,744千円(前年同期比0.4%減)となりました。

利益面では原材料費の上昇等もありましたが、コスト削減に努めた結果、当第2四半期累計期間の営業利益は63,367千円(前年同期比27.3%増)、経常利益は66,906千円(前年同期比38.6%増)、四半期純利益は21,749千円(前年同期比66.0%増)と減収増益となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末と比べて16,085千円減少し、225,619千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間における営業活動の結果、獲得した資金は89,963千円(前年同期比3.5%減)となりました。これは主に税引前四半期純利益66,906千円及び減価償却費96,602千円を計上したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間における投資活動の結果、獲得した資金は91,200千円(前年同期は168,509千円の使用)となりました。これは主に定期預金の預入による支出106,000千円及び定期預金の払戻による収入193,000千円を計上したことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間における財務活動の結果、使用した資金は197,248千円(前年同期は102,343千円の獲得)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出156,742千円を計上したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対応すべき課題において重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 主要な設備

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,000,000
計	4,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	1,449,168	同左	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	(注)
計	1,449,168	同左	-	-

(注) 完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1 日~ 平成25年9月30日	-	1,449,168	-	579,900	-	496,182

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
野沢八千万	群馬県桐生市	416,390	28.73
有限会社アクティブ	群馬県桐生市新宿1丁目11-8	120,960	8.35
フライング・ガーデン持株会	栃木県小山市本郷町3丁目4-18	76,916	5.31
金室貴久	東京都板橋区	70,000	4.83
野沢卓史	栃木県小山市	66,124	4.56
野沢通子	群馬県桐生市	54,144	3.74
野沢良史	群馬県桐生市	51,724	3.57
株式会社足利銀行	栃木県宇都宮市桜4丁目1-25	28,800	1.99
株式会社群馬銀行	群馬県前橋市元総社町194番地	14,400	0.99
根岸俊之	群馬県みどり市	12,400	0.86
計	-	911,858	62.92

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,400	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,424,700	14,247	同上
単元未満株式	普通株式 21,068	-	同上
発行済株式総数	1,449,168	-	-
総株主の議決権	-	14,247	-

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社フライング ガーデン	栃木県小山市本郷町 三丁目4番18号	3,400	-	3,400	0.24
計	-	3,400	-	3,400	0.24

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について監査法人A & Aパートナーズによる四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

1【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	548,704	445,618
売掛金	31,091	24,058
商品及び製品	2,086	2,248
原材料及び貯蔵品	30,615	34,280
その他	123,207	123,236
流動資産合計	735,704	629,443
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,499,430	3,501,279
構築物	828,070	828,070
その他	905,051	907,268
減価償却累計額及び減損損失累計額	3,433,644	3,523,605
有形固定資産合計	1,798,907	1,713,011
無形固定資産	186,142	188,601
投資その他の資産		
差入保証金	502,376	484,323
その他	582,981	554,009
貸倒引当金	38,845	36,856
投資その他の資産合計	1,046,512	1,001,477
固定資産合計	3,031,563	2,903,090
資産合計	3,767,267	3,532,533
負債の部		
流動負債		
買掛金	209,110	170,536
短期借入金	290,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	307,296	314,026
未払金	284,792	254,977
未払法人税等	46,334	31,328
ポイント引当金	10,270	10,300
賞与引当金	33,084	31,002
その他	104,862	122,826
流動負債合計	1,285,750	1,134,995
固定負債		
長期借入金	829,674	766,202
退職給付引当金	100,889	101,605
役員退職慰労引当金	145,236	147,865
資産除去債務	117,575	118,809
その他	54,195	50,758
固定負債合計	1,247,571	1,185,241
負債合計	2,533,321	2,320,236

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	579,900	579,900
資本剰余金	496,182	496,182
利益剰余金	163,342	141,720
自己株式	5,478	5,505
株主資本合計	1,233,946	1,212,296
純資産合計	1,233,946	1,212,296
負債純資産合計	3,767,267	3,532,533

(2) 【四半期損益計算書】
【第 2 四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
売上高	3,523,560	3,507,744
売上原価	1,097,914	1,118,190
売上総利益	2,425,646	2,389,554
販売費及び一般管理費	2,375,853	2,326,187
営業利益	49,792	63,367
営業外収益		
受取利息	1,745	1,532
受取賃貸料	18,415	18,986
その他	5,509	8,938
営業外収益合計	25,670	29,457
営業外費用		
支払利息	10,762	9,305
賃貸収入原価	13,627	14,239
その他	2,804	2,374
営業外費用合計	27,194	25,918
経常利益	48,269	66,906
特別利益		
受取補償金	6,370	-
特別利益合計	6,370	-
税引前四半期純利益	54,639	66,906
法人税、住民税及び事業税	22,590	22,197
法人税等調整額	18,947	22,959
法人税等合計	41,538	45,157
四半期純利益	13,101	21,749

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	54,639	66,906
減価償却費	97,425	96,602
受取補償金	6,370	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,702	1,989
ポイント引当金の増減額(は減少)	1,310	30
賞与引当金の増減額(は減少)	3,000	2,082
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	2,489	2,628
退職給付引当金の増減額(は減少)	3,326	716
受取利息及び受取配当金	1,745	1,532
支払利息	10,762	9,305
売上債権の増減額(は増加)	1,983	7,032
たな卸資産の増減額(は増加)	887	3,827
仕入債務の増減額(は減少)	19,078	38,574
未払金の増減額(は減少)	6,355	23,840
未払費用の増減額(は減少)	8,672	6,769
未払消費税等の増減額(は減少)	26,584	29,280
その他	744	10,628
小計	136,114	136,797
利息及び配当金の受取額	80	40
利息の支払額	10,162	8,965
補償金の受取額	6,370	-
法人税等の支払額	39,249	37,928
法人税等の還付額	40	19
営業活動によるキャッシュ・フロー	93,192	89,963
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	181,000	106,000
定期預金の払戻による収入	193,000	193,000
有形固定資産の取得による支出	176,821	3,835
無形固定資産の取得による支出	4,529	10,318
差入保証金の差入による支出	1,364	-
差入保証金の回収による収入	18,844	18,942
その他	16,638	588
投資活動によるキャッシュ・フロー	168,509	91,200
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	50,000	90,000
長期借入れによる収入	350,000	100,000
長期借入金の返済による支出	150,156	156,742
リース債務の返済による支出	4,146	4,638
自己株式の取得による支出	-	27
配当金の支払額	43,354	45,841
財務活動によるキャッシュ・フロー	102,343	197,248
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	27,027	16,085
現金及び現金同等物の期首残高	254,621	241,704
現金及び現金同等物の四半期末残高	281,648	225,619

【注記事項】

(四半期損益計算書関係)

販売費及び一般管理費の主な内訳

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
消耗品費	123,849千円	116,472千円
給料・賞与	357,413	345,581
賞与引当金繰入額	33,084	31,002
雑給与	751,928	755,000
役員退職慰労引当金繰入額	2,489	2,628
退職給付費用	6,917	5,657
地代家賃	277,381	274,253
水道光熱費	259,944	275,649
減価償却費	95,215	76,065

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	576,648千円	445,618千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	295,000	219,999
現金及び現金同等物	281,648	225,619

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	43,373	30.0	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	43,371	30.0	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

(金融商品関係)

当第2四半期会計期間末において、金融商品の四半期貸借対照表計上額その他の金額に前事業年度の末日に比べて著しい変動が認められませんので、記載を省略しております。

(有価証券関係)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、ファミリーレストラン事業の単一セグメントでありますので、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	9円6銭	15円4銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	13,101	21,749
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	13,101	21,749
普通株式の期中平均株式数(株)	1,445,780	1,445,704

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月5日

株式会社フライングガーデン

取締役会 御中

監査法人 A & A パートナーズ

指定社員
業務執行社員 公認会計士 笹本 憲一 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 加賀美 弘明 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フライングガーデンの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第33期事業年度の第2四半期会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フライングガーデンの平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。